東京多摩プロバスニュース

第 82 号

■事務局: 〒206-0021 東京都多摩市連光寺 3-31-3 滝川方■編集・発行:広報委員会 2019.1.9.

■電話・FAX (042)372-2238 ■URL: http://www.tokyo-tama-probusclub.com

未来のために多摩の創生、再生を！

第 173 回 定例会

日 時 :平成 30 年 11 月 7 日(水)午後 1 時 30 分より

場 所 :関・一つむぎ館 第 4 会議室

お客様 :東京工科大学 神子島健博士

出席者 :22 名(会員数 27 名)

第 174 回 定例会

日 時 :平成 30 年 12 月 5 日(水)午後 1 時 30 分より

場 所 :関・一つむぎ館 第 4 会議室

お客様 :飯作金彦様 松山洋一様

出席者 :25 名(会員数 26 名)

理 念

1. 豊かな人生経験を生かし地域社会に奉仕する
2. 活力ある高齢社会を創造する
3. 会員同士の交流と意欲の向上をはかる
4. 非政治的、非宗教的、非営利的であることとする

◇◇◇ ごあいさつ ◇◇◇

「新年を迎えて」 **大澤亘副会長**

明けましておめでとうございます。今年は平成から新元号に代わり、当クラブも 5 月には創立 15 周年を迎えます。新しい気持で新年を迎えたいと思います。

当クラブではこの 1 年間に 4 人の会員が亡くなりました。いずれも当クラブの創立や発展に尽力されしかも最近まで元気に活動されていた方々でした。会員の高齢化は着実に進行しており、このままではクラブの存続さえ懸念される状況で、何としても会員の増強を図らなければなりません。

一方でいまや「人生百年時代の到来」と云われるとおり最近では「退職」はまだ人生の折返し点に過ぎず、人生後半の長い自由な時間が残されています。自分の知力・気力・体力をできるだけ維持して「高齢化」を「長寿化」にしなければなりません。「高齢者は家に引き籠らず積極的に外へ出て多くの人と交流することが健康寿命を維持する秘訣」とも云われますがニュータウン地区の住民は殆どが新しい生活環境を求めて他の地域から移住した人たちであり、この地域で交流の相手を見つけると言っても簡単ではありません。

このような人たちにとってプロバスクラブはまさにこの秘訣にぴったりではないでしょうか。入会によって交流の相手は一気に広がります。現役時代の知識経験を生かして地域奉仕活動をしたり、卓話や講話を通して異なる職業の会員や外部講師の話を聴いたり、自分の研究や趣味を会員の前で発表することもできます。自分一人では行きにくい場所や施設の訪問や見学の機会もあります。俳句、歌、グルメなどのサークル、近隣クラブとの囲碁やゴルフの対抗戦もあります。これらの活動を通じて毎日を適度な緊張感を持って過ごすことになります。

皆さんと協力して何とか会員の増強を実現したいと思います。

鶴の橋（南野三丁目）

多摩市には 180 以上の橋がある。交差点を渡らずに駅まで行けるように、立体交差の道路でユニークな名前が付いている。

◇◇◇　幹事･委員会報告　◇◇◇

1. 幹事報告　鈴木泰弘幹事

1. 1. 会員の異動

第13期会長倉賀野武士さんが11月17日(土)逝去されました。享年84。謹んでご冥福をお祈りいたします。

1. 2. 会員構成（敬称略）

会員：26名　内休会1名（瀬尾日出男）

会友：7名（青木ひとみ、池田寛、片山満子、永島仁、蓮池守一、松永弘、山田喜一）

1. 3. 第14回多摩市中学生俳句大会表彰式

東京多摩ロータリークラブ主催の掲題の表彰式が12月15日(土)関戸公民館ヴィータホールで開催され、澤雄二会長が出席。　詳細はP3参照

1. 4. 全日本プロバス協議会総会

11月28日（水）三重県四日市市にて開催され、当クラブより澤雄二会長、中村昭夫、滝川益男、滝川道子、秋山正仁、伊藤健一各会員の6名が 出席した。

上記総会において、中村昭夫会員が全日本プロバス協議会の理事に選任された。　詳細は右段下参照

1. 5. 平成30年忘年会実施

12月5日(水)、京王クラブにおいて、出席会員22名の他、ご来賓として八王子プロバスクラブ馬場征彦会長、寺田昌章幹事、田中信昭理事、日野プロバスクラブ奥修兵会長、後藤紀之副会長、小島康義幹事、入会希望の飯作金彦氏、松山洋一氏の8名を迎えて賑々しく実施。

詳細はP3参照

2. 委員会報告

2. 1. 総務委員会　小池博委員長

1)卓話について

3月の卓話は、伊藤会員に依頼。4月以降の卓話・講話の詳細計画を提案者にお伺いすることにした。

2)15周年記念式典予定の5月15日がパルテノン多摩の休館日であることが判明、その対策を理事会にて検討することになり、5月22日と17日が候補に挙がっている。

2. 2. 研修・親睦委員会　滝川益男委員長

1)11月28日から3日間、横濱プロバスクラブ仕立てのバスで全日本プロバス協議会三重大会に参加し、熊野・伊勢方面を旅行してクラブ間交流を行いました（澤雄二会長・秋山正仁・伊藤健一・滝川益男・滝川道子各会員）。

熊野古道を楽しむ皆さん

2)12月5日（水）今年度の忘年会を開催しました。

詳細はP3参照

3)1月実施予定の「寄席と離宮と市場見学会」を「寄席と離宮と日本科学未来館見学会」と改称し、1月14日(月)に実施します。

研修・親睦委員会の皆さん

2. 3. 地域奉仕委員会　中村昭夫委員長

当委員会に課せられた課題である寺子屋をどのように実施するか委員会内で検討している。当面は小中校や高齢者施設を訪問して出前講座を行い、この講座がある程度定着したら、学習講座として一カ所に集めた講座を行うとの意見が多いことから、先ずは出前講座で実施のための具体案を作って進めたいと思う。会員各位が講師として講座を引受けてほしいと願っている。

また当クラブ創立15周年記念の公開講座については3月中旬に関戸公民館で実施するよう計画しているが、現在、講師の選定を検討している。

2. 4. 広報委員会　北村克彦委員長

1)プロバスニュース第82号を1月9日(水)、発行・配布する。

2)今後、全会員からの自由投稿を掲載していきたい。

日頃感じ・思っていること・日常の活動などを、エッセイ、写真、俳句、川柳、絵画など自由な形でお寄せ下さい。

3. 第8回全日本プロバス協議会総会･全国大会　中村昭夫会員

全日本プロバス協議会総会・全国大会は2年毎に開催される。今回の第8回は三重県四日市市にて開催され、三重県内の5プロバスクラブが実行委員会を結成して企画・運営された。来賓として三重県知事、四日市・桑名・鈴鹿の各市長に加え、三重県内の各ロータリークラブ会長の方々も臨席された。

総会では事業報告・決算報告がなされ、事業報告では地域単位の交流会が活発にできた。また各クラブの周年行事に本部役員が出席し行事を盛り上げたとの報告がなされた。

次年度事業計画では、①次年度より本部機能を北九州プロバスクラブが担当し事業推進を行う、②全国内を5ブロックに分け地域内の情報交換と交流促進を図る、③全日本プロバス協議会通信(仮称:ひろば)を定期的に発行し各クラブに対する情報交換を行う、④会員クラブ間の情報交換の徹底と強化を図るため電子化を促進する、

◇◇◇　幹事･委員会報告(つづき)　◇◇◇

⑤本部財政基盤の強化をはかるため各クラブ会費を3,000円から10,000円に値上げする、⑥賛助会員の創設を行う、⑦会員数拡充のため新規プロバスクラブの設立を図る、などの提案がなされた。

次回（2020年）第9回総会・全国大会は青森にて開催しホストクラブ青森五所川原プロバスクラブ、コホストクラブ旭川プロバスクラブの共催で開催することが決定された。また当クラブ中村が全日本プロバス協議会理事に選任された（任期：2020年まで）。

全国大会では各来賓の挨拶に始まり、記念講演として本居宣長記念館館長による「本居宣長と松阪」と題し講演が行われた。またアトラクションとして尺八・琴の演奏、伊勢木遣り、つんつく踊りが披露され、出演者全員による大合唱などがなされた。その後各クラブ間の交流の活発化を図るための懇親会を行った。

◇◇◇　行　事　◇◇◇

1. 第14回多摩市中学生俳句大会表彰式　澤雄二会長

多摩ロータリークラブ主催の俳句大会表彰式が、12月15日(土)関戸公民館ヴィータホールで開催されました。

授賞式を終えて

本年は市内9中学校他から2759句の応募作品が寄せられ、当研句会は第1次選考に携わり、その中から104句が優秀作品として選ばれました。

表彰式には、審査委員長の「からまつ俳句会」名誉主宰の由利雪二氏をはじめ、同俳句会主宰の石川春兎氏、阿部市長、清水教育長、東京多摩ロータリークラブ会長、入賞者、各学校長、父兄並びに当プロバスクラブ澤会長の多数が出席のもと、入賞者の表彰が行われました。

「審査委員長賞」

グローブのすき間から見る入道雲
多摩永山中学校　原田　大翔

「東京多摩プロバスクラブ賞」

夏空にうみねこの白エアポート
東愛宕中学校　横張　日好

飴色の朝日をまとう空蝉よ
和田中学校　吉田　優太

夏期講習ノートの厚み自信へと
和田中学校　髙塩美沙希

太陽を探して仰ぐ背泳ぎや
諏訪中学校　穂満　大和

夏休み涼しい場所は猫の場所
聖ヶ丘中学校　小林　涼馬

表彰は「審査委員長賞」「市長賞」「教育長賞」や多くの賞が次々と授与され、当クラブの澤会長から、東京多摩プロバスクラブ賞を5名に授与しました。「審査委員長賞」はもっとも評価の高い俳句に贈られます。

東京多摩プロバス賞受賞者の皆さんと澤会長

なお、1次選考を通過した301句の作品は1月24日(木)～29日(火)、京王百貨店聖蹟桜ヶ丘店5階連絡ブリッジギャラリーで短冊にして展示される予定です（文責　鈴木泰弘幹事）。

2. 忘年会　　研修・親睦委員会 西村政晃会員

12月5日（水）夕刻、恒例の忘年会を京王クラブで開催した。来賓に八王子プロバスクラブから馬場征彦会長、寺田昌章幹事、田中信昭理事、日野プロバスクラブから奥修兵会長、後藤紀之副会長、小島康義幹事をお迎えし、秋山会員の友人の飯作金彦様、松山洋一様が参加、出席会員は22名を数えた。

忘年会は北村克彦理事の司会で進行、澤会長による感謝の挨拶から始まり、大澤副会長の音頭で年内の諸活動が無事遂行されたことを祝って乾杯。八王子PCの馬場会長と日野PC奥会長から友好の祝辞が寄せられ、和気藹々の懇親の宴となった。カラオケ担当・瀬尾日出男会員の絶妙の進行で各会員が十八番を披露、宴も酣のなか鈴木幹事の中締めで互いの健闘を称え合い、最後に全員で「星影のワルツ」を合唱して散会した。

◇◇◇　講　話　◇◇◇

これが多摩火工廠だ　東京工科大学 神子島健博士

2018年11月7日の定例会で、DVDを主体にした講演を行った。2000年に行われた多摩市平和展での「多摩市火工廠」写真展示(稲城市教育委員会の写真が中心)がきっかけであった。2012年から自主学習グループにより展示が拡充され、2013年神子島の主導で学習会を開き、2018 年にDVDで「青空が見ている多摩」が完成した。

火工廠は陸軍の火薬(炸薬)工場で正式には東京第二陸軍造兵廠多摩製造所である。危険な爆薬製造の分散を目的に各地に分散された火薬工場の一つです。

1938年11月に操業が開始され板橋にあった製造所の分工場と言う位置づけであったが、1939年10月火工廠多摩製造所として独立した。最終的には黒色火薬、黄色薬などをそれぞれ1,000噸が毎年製造され砲弾炸薬(三七耗砲)戦車地雷、手榴弾、伝火薬筒、爆薬炸薬などに使われた。場所は川崎街道沿いの稲城長沼の一部であり、建設にあたっては連光寺で集団移転した集落もあった。その地域には製造工場、半地下倉庫、工員の生活施設(寮や風呂場)が分散して置かれていた。

戦争が激しくなると女学生や未婚女子工員、徴用工で生産が行われた。徴用工は寮生活、男性の一般工員は下宿生活であった。男社会の軍隊では女子寮は憧れの的だったし、職場結婚も多かった。また野球チームを作り楽しんでいたこともあった。当時稲城は店が少なく肉や魚は府中から取り寄せたがコメは十分にあった。また青年の為の技能者養成所もあった。

終戦後は占領軍の管理下に置かれた。そして火薬の爆破処理が行われその時出来た聖ヶ丘付近の窪地が池になり「どかん池」などと呼ばれた。爆破処理が済んだ後食料増産のための耕作が認められた。また本部建物は稲城中学校の校舎として利用された。しかしその後も米軍は返還の意思はなく、ホークミサイルの基地にしようという計画もあったが、これは地元住民の反対で中止になった。現在は米空軍空輸航空団が管理しており、多摩ヒルリクリエーションエリアとして米軍用ゴルフ場になっている。

しかし国有地であり国民の財産である貴重な戦争遺跡をどうしていくか？は我々の大事な課題である。

◇◇◇　卓　話　◇◇◇

南アフリカの思い出　小池博会員

1960 年代工場技術者の海外出張は難しかったが国際競争力が付いたと思われる製品ができたこともあり初めての海外出張に出発した。オランダ、ドイツ、スエーデンで色々な経験をしながらドイツ航空ルフトハンザで南アフリカに向かった。

そこで痛いほど知らされたのが有色人種に対する扱い「アパルトヘイト」である。飛行機の中の座席は前から白人、日本人、有色人種、最後部は黒人である。

日本人は名誉白人と分類されるがトイレ、レストラン、ホテルが白人用を使えるだけで、後は黒人並みの扱いをされる。従って、機内のサービスの食事は配られるが、コーヒーなどのサービスは全く受けられなく、スチュワーデスの我々に対する蔑視もひどかった。これは帰りのイギリス航空BAでも同じであった。

南アフリカでの市場調査中事務所長の奥さんからミュージカル「イッピ・トンビ」を是非見るようにとアドバイスされた。素晴らしい出来のミュージカルでこれから私のミュージカル狂いが始まった。しかし帰国後このミュージカルの主演女優が白人の俳優に恋をしたという理由だけで、白人に射殺されたという記事を見てアパルトヘイトが心から憎くなった。しかし皮肉なことにこの時期のヨハネスブルクは整然とした美しい街並みだった。その後、わが社の真空遮断器の優秀性が認められた。これは世界の4割の生産量を誇る金鉱やダイヤモンド坑の厳しい環境の中でイギリス製よりはるかに信頼性があることが証明されたからである。その後、同社の真空遮断器開発のお手伝いで何度か南アフリカを訪問したが、白人が勢力を失い黒人の自由が増えてくると街は危険になり、夜は外出するなから昼もホテルにいてくれと言う地帯になってきた。黒人の闘争は激しくなり、ついにわが社の事務所が爆破されるという被害を受けた。これは隣に独立運動グループの一部の事務所があり、その反対派が間違ってわが社の天井に爆薬を仕掛けたと言うお粗末であったが、幸い夜だったので怪我人はいなかった。一方仕事は大成功で山のような注文が来た。

定年を迎え若いうちに海外旅行は遠いところから行こうと計画を立て南アフリカに行くことにした。

街はジャガランタの花盛りであったが極めて危険な状態になっていた。懐かしい事務所のあったカールトンセンターに行きたいと添乗員に話したら「あそこは今犯罪多発地帯になっており、行ったら殺されるか盗まれる」と聞いてびっくりした。

これはマンデラさんが死刑を廃止したためと現地在住20年の添乗員が説明していた。プレトリアもヨハネスブルクも昼は経済都市として機能しているが、夜はそれを狙っている白人が郊外の安全な地帯に帰ってしまうので市内は危険都市に一変する。そこに君臨しているのは黒人の富裕層である。小高い丘に高い塀と最高級の警備会社、そして高圧電線と獰猛な犬に守られた豪華な家がそれである。

世界一の地下資源を持つこの国はうまくやれば全国民が豊かさを享受できるのになあと心から思った。

◇◇◇　追　悼　◇◇◇

倉賀野武士さんを偲ぶ　　鈴木達夫会員

第13期定期総会の倉賀野武士さん

平成30年11月17日病気療養中、83歳の人生を閉じられました。

倉賀野さんとの出会いは、定年後に多摩コミュニティーカレッジ(TCC)のサークル活動を通して親しくさせていただきました。その TCC の企画で 70 歳を迎えた記念として平成 16 年四国お遍路の旅四国霊場八十八か所へ会員と巡り、その後、平成 18 年に秩父三十四観音霊場をお参りしました。

ボランティア、スポーツ等の趣味は多く毎日忙しく過ごされ、特に週3回の太極拳は師範の実力者、俳句は同人で各大会に入選され、多摩ウォーキングクラブは皆勤、健康維持に務められた誠実な人でした。当クラブでは第 13 期の会長として活躍され、今後の活躍も期待されました。心から感謝申し上げ謹んでご冥福をお祈り致します。

冬落葉思い出残し旅たちぬ　　透水

以下、会員各位の偲ぶ言葉。(五十音順)

秋山正仁;昨年4月倉賀野会長と乞田川の桜を観る会に参加した時、参加者より俳句を募集したところ、見事な選評をして下さったこと忘れません。ご冥福を！

上田清;会長をされたときに幹事をさせていただきましたが、まだまだプロバスでご活躍されるものと思っておりましたのに誠に残念です。ご冥福をお祈り申し上げます。

大澤亘;物静かながらクラブ活動のほか俳句、茶道、華道、料理など幅広く活躍され敬服していました。6 月頃まではお元気だったのにこの早いお別れは本当に残念です。

神谷真一；習い事の多い人でした。茶道、華道、俳句、歌など。棺の中の彼は穏やかな顔をしていました。プロバスに入会したのは私の誘いからで、会長を頼んだ時もすぐ OK。いい男でした。

北村克彦;6年間のお付き合いの中で多くの事を学ばせて頂き、特に俳句はこれからも教えて頂こうかと思っていたのに残念です。心からご冥福をお祈り申し上げます。

小池博;「侘助」で初めてお会いしました。その後川崎大師へのウォーキングをご一緒したことなど思い出し、ご冥福をお祈りしています。

澤雄二;倉賀野さんが会合に来られた最後の日、ランチをしましたね。その時の笑顔を忘れることはありません。お別れの日、顔色は良く笑顔にも見えました。冬の句を捻り出しましたか？ご冥福を祈ります。

鈴木泰弘；八十路なおかける夢あり……と詠んだ武士(もののふ)は太極拳、茶道、陶芸、ウォーキングと行動的で多彩な趣味人でした。今頃は三度目の四国巡礼中か。合掌

高村弘毅;クラブに出席して柔軟体操を倉賀野武士会員から教えられました。ヨガのような体操でとても感銘しました。ご冥福をお祈りいたします。

滝川益男；思慮深い「九思一言」の方でした。会長時代に全日本 PC 総会への参加資格を人へ譲るなど、他者優先の方でした。余りの急逝が悔やまれてなりません。合掌

滝川道子;倉賀野さんが入会され、委員会又俳句会でご一緒させていただきました。俳句の会では毎回の投句の語彙力のすばらしさに感銘いたしておりました。ご冥福を。

登坂征一郎;「句友志水さんは句集の上梓を夢見ておられ、師の春兎先生が彼の作品を精選され印刷を待つばかりでした。その矢先で誠に残念至極です。ご冥福を！

冬銀河届けたきかな珠玉集　　爽風

中村昭夫；歌を楽しむ会メンバーであった倉賀野さんは「時代おくれ」という歌が大変気に入りよくリクエストを頂いた。彼の望みは時代遅れの男になりたいということ。

永田宗義;倉賀野さんとは多くのお付き合いはありませんでしたが、定例会の体操タイムで太極拳を温厚・並外れた指導リードに皆、心地よく癒され素晴らしかった。合掌！

西村政晃;有力な会員倉賀野さんが旅立たれました。倉賀野さんは先見性があり、クラブをとてもよくリードされた会長でした。ご冥福をお祈り申し上げます。

阪東熙子；焦雨園の聞香の席に初めてお連れして老練な方々の前で一位を仕留め、お家流安藤家元より賞状を頂く栄誉。二十年位前の思い出。機知のひらめき勝れ人。

藤嵜喬子；「心のまったければ平等大慧の智水乾く事なし」まさに紡がれる言葉の端々には、誠実・温和・勤勉そして豊かな感受性が溢れていました。寂しいです。

堀内陽二;倉賀野様には親しくお付き合いいただき、健康体操でご指導下さいました。その温かいお人柄いつまでも忘れません。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

増山敏夫;毎月刺激を受けていた句友を失いました。もっともっと詠みたかったでしょう。流馬さんと天上俳句を楽しんでください。

天上の志水の茶の湯冬北斗　　胡桃子

村上伸茲；倉賀野さんが会長の時、地域奉仕委員長としてご一緒しました。その後も、いつお会いしても「お元気ですか？」と健康を心配してくれる、実に心の広い思いやりあふれる人情味ある方だったと偲ばれます。

山田正司;沈着冷静、博識で行動派だった。倉賀野さんとは同学年でかつ建築士仲間でした。かくも身近な人から受けた教訓の数々は、誠に身にしみて尊いものです。

在りし日の倉賀野さん

◇◇◇　サークル活動　◇◇◇

谺句会・山鳩句会の合同句会　　**登坂征一郎会員**

①合同句会；12 月 14 日(金)、13:00～16:00、谺句会は第 137 回の句会を迎え、今回は山鳩句会との合同句会を行いました。山鳩句会は我が句会と同じく「からまつ俳句会」傘下で、また関戸公民館をベースに活動されているベテランの句会です。

今回は、句会の師「からまつ」主宰の石川春兎先生をはじめ、山鳩句会から 5 人、当句会から 10 人が参加、また、「からまつ」名誉主宰の由利雪二先生、谺句会の池田玄海さんから投句があり、大変賑やかな句会となりました。

山鳩句会との合同句会は、2011 年の東日本大震災直後の 2011 年 4 月 1 日に次いで 2 回目となります。

今回は、従来通り前もって各位 4 句を投句、計 72 句を清記して、投句された方に事前に配布、句会の当日に 5 句ずつ選句して持参いただく方式としました。

句会の初めに、句会直前に他界されました我らが句友倉賀野志水さんに黙祷を捧げました。

句会は久しぶりに部屋一杯に、緊張の中にも和気藹々の雰囲気で、北村岳人さんの披講で句会に入りました。

披講の後、夫々選句した句の良かった点、適切な季語の指摘や、こう表現してはなど述べ合い、特に山鳩句会の皆さんの作品に触れることで、俳句も多くの方々と交流をすることにより、それぞれ刺激し合い切磋琢磨の好機と感じ入りました。またの再会を期してお開きとなりました。

谺句会会員の当日の代表句から～。(五十音順)

濁声の飛び交う屋台酉の市	池田　玄海
句の友の生前の顔秋の月	神谷　虎子
お隣の安否確認年の暮	川久保魚水
冬晴やうねうね泳ぐモノレール	北村　岳人
不祥事のけじめなきまま去年今年	島村　健造
干柿の音符のごとく吊られけり	鈴木　透水
煤逃げや一番先は衛生長	関戸　氷子
立ち昇るそばがきの香や昼御膳	滝川　露枝
手袋を外す間も惜しハグの友	登坂　爽風
菊一輪遺影に手向け朝の膳	蓮池　秋霜
首なしの地蔵並ぶや秋の雨	増山胡桃子

②谺句会忘年会；句会終了後、春兎先生を囲み、蕎麦屋「武くら」で忘年会を行いました。冒頭、今年相次いでお亡くなりになった句友の蓮池光花さん、倉賀野志水さんのご冥福を祈り黙祷を捧げました。

当句会のメンバー減少に淋しさも募りましたが、10 月より島村健造さん、関戸氷子さんを新たにお迎えし、忘年会にも参加いただき心強く思った次第です。

忘年会の席上、増山胡桃子さんが、18 年度の「からまつ俳句会」の名誉ある山河賞を、また、下記の句で、「ねんりんピック富山 2018 俳句交流大会」の高野ムツオ先生の特選賞を受賞され、祝杯をあげて喜びを分かち合いました。

しみじみと杖つく平和草もみじ　　増山胡桃子

◇◇◇ ハッピーバースデイ ◇◇◇

誕生日を迎えられました！

8 月　高村弘毅会員

11 月　村上伸茲会員

各位から一言；

高村：最後の平成終戦記念日 8 月 15 日、小生の 81 歳でした。昭和・平成・X 年と 3 世代に生きる。

村上：84 歳を迎え、そろそろ、人生の仕上げの段階にきています。若いころより人生の指針としてきた「暮らしは低くとも、思いは高く」（ワーズワースの詩の一節から）。質素ながら、志は高く、謙虚な生き方ができたか自問自答し、未だ模索中です。

◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇

謹んで新年のお慶び申し上げます。平成 31 年の干支は己亥で動物は猪をあてます。「前進する事猪の如し」と禅語にあります。それに今年は新しい元号を迎える年です。

伝統と革新、大きな一歩を踏み出しましょう。

○大澤副会長が、高齢化を長寿化にとの切実な表現があり、直ちに策を講ぜねばと、同感しました。

○行事では、中学生俳句 2759 句の第一次選考に携わったとあり、上手下手ではなく、暖かい教師の情を以って選句されたことでしょう。落ちた生徒の事を思い切なくなります。

○神子島氏の講話によって、どかん池、稲城中学、米軍用ゴルフ場等、身近に生々しい戦後の遺産が存在するのを知り考えさせられました。

○小池会員の卓話では、アパルトヘイトの実態が今もあるとは、井の中の蛙大海を知らずでした。

○倉賀野さんを偲ぶ欄には、各会員の思いが溢れています。

「生かされて共に白髪の屠蘇を酌む　志水」

倉賀野さんの句に身につまされた寂しさが募ります。

○サークル活動の合同句会の文中に、大正 13 年お生まれの池田玄海さんが、酉の市を詠まれています。お元気の様子喜ばしく、胡桃子さんは賞二つも受賞された由、みなさまの笑顔が目に浮かびます。

本日第 82 号をお届けするに至りました。各位には、通読の印象等、お聞かせいただければ幸いです。

会員の自由投稿、鶴首してお待ちしております。

「詠み人の分かる気がする、卒過ぎて芽出度くもあり芽出度くもなし」浮草

今年もよろしくお願いいたします。

（広報委員　阪東熙子記）